

市区町村名	岩手県北上市	担当部署	財務部資産経営課
		電話番号	0197-72-8250

## 1 取組事例名

「岩手県初！東北でも初！？」

LoGo フォームを活用した公用車運転命令、日誌の電子申請及び管理」



## 2 取組期間

- ・令和5年6月～令和6年3月の10か月間 準備期間（構想から試作まで）
- ・令和6年1月～DX ログチャットグループ（20名）で、電子申請のテスト及びフォームの修正を繰り返す。
- ・令和6年3月～試行（全庁でのテスト期間）
- ・令和6年4月～全公用車（約200台）でオンライン申請に切替。本格稼働！

## 3 取組概要

これまで紙で処理してきた公用車に係る運転命令・運転日誌・車両管理等の一連の事務を、LoGo フォーム（自治体専用デジタル化総合プラットフォーム）を活用して電子化。

①運転者は、公用車に添付された LoGo フォームの二次元コードをスマホで読み込み、専用フォームに必要な事項を入力して送信することで運転記録の報告が完了。ペーパーレスによりコストの削減及び業務効率が向上。

②車両にかかる情報をすべて電子管理することで、車検情報も「見える化」され、車検漏れ防止にもつながっている。

## 4 背景・目的

取組前の課題

- ・公用車運転日誌の用紙補充、大量の紙の管理、保存、廃棄が公用車全200台分毎年度必要。
- ・毎月約2,000件の公用車利用があり、年間で約24,000件の利用実績。A4用紙500枚入り48個分必要になる。金額では、単価500円×48個で24,000円分の費用が発生。+シュレッダー処分委託費。
- ・運転記録について、走行距離を暗算して記載することにより間違える等、記録提出後の修正が多い。結果、定期監査でも記載誤りの指摘が多く「対応に苦慮」していた。
- ・運転命令の申請に押印が必要（年間約24,000件）
- ・年に一度の省エネルギー使用実績報告時では、運転記録簿から手作業で走行距離等の数値を拾い上げ、手入力で電子データ化していた。

これらが一度に解決出来る「業務改善！」を検討した。

## 5 取組の具体的内容

### □電子申請導入後の申請方法

#### ●使用前

①公用車予約システムで使用する車両の予約



②所属する課等の長に口頭で運行経路、用務を伝え、運転命令を受ける  
(運転免許証提示・アルコールチェック)



③公用車利用フォーム①(運転命令)に必要な事項を入力  
(運転席で二次元コードを読取り入力またはパソコンでも入力可)

※運転記録は、課の代表メールに送信され随時内容確認可能

#### ●使用后

④公用車利用フォーム②(運転日誌)に必要な事項を入力  
(運転席で二次元コードを読取り入力またはパソコンでも入力可)

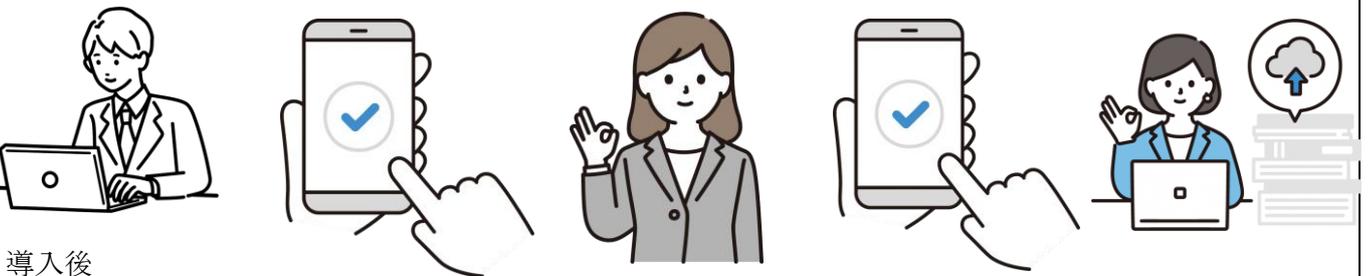
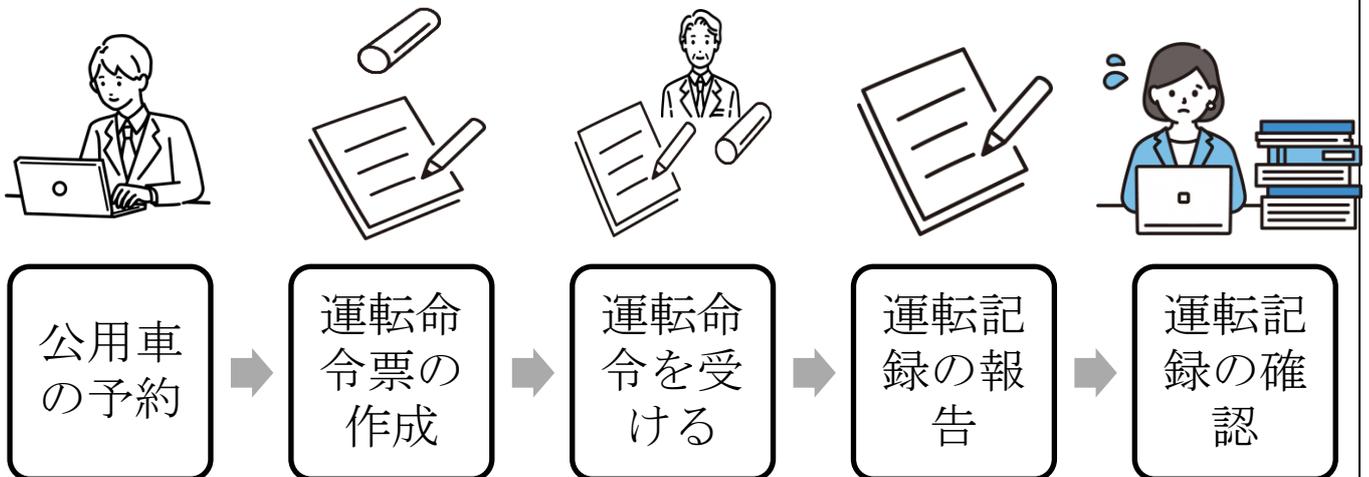
※運転記録はロゴフォーム内に自動保存され、随時内容確認可能

**入力は30秒!**

### □運転記録の活用方法

- ・年に一度の環境報告(公用車の走行距離、ガソリン使用データ統計)
- ・公用車の適正配置(使用頻度、走行距離のデータベース化)に活用。

### 導入前



### 導入後

## 6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

・参考自治体は、LoGo フォームの HP で紹介されていた奈良県橿原市。運転記録を紙から電子へ。他市町村を参考に、北上市バージョンにアレンジ！

### 特徴①

- ・北上市では、利用前の「**運転命令**」と、利用後の「**運転日誌**」の記入を「**紙から電子**」申請へ。これは、岩手県内の自治体で「**初めての取り組み!**」。

### 特徴②

- ・所属長による運転命令（管理者の承諾）を「**押印**」⇒「**口頭**」に変更し、電子申請時に運転命令のチェック欄で管理者の承諾とした。

### 特徴③

- ・各車両の車検情報をデータ登録し、申請のたびに車検期限を確認できるように工夫し、「**車検漏れ防止!**」を行っている。

### 特徴④

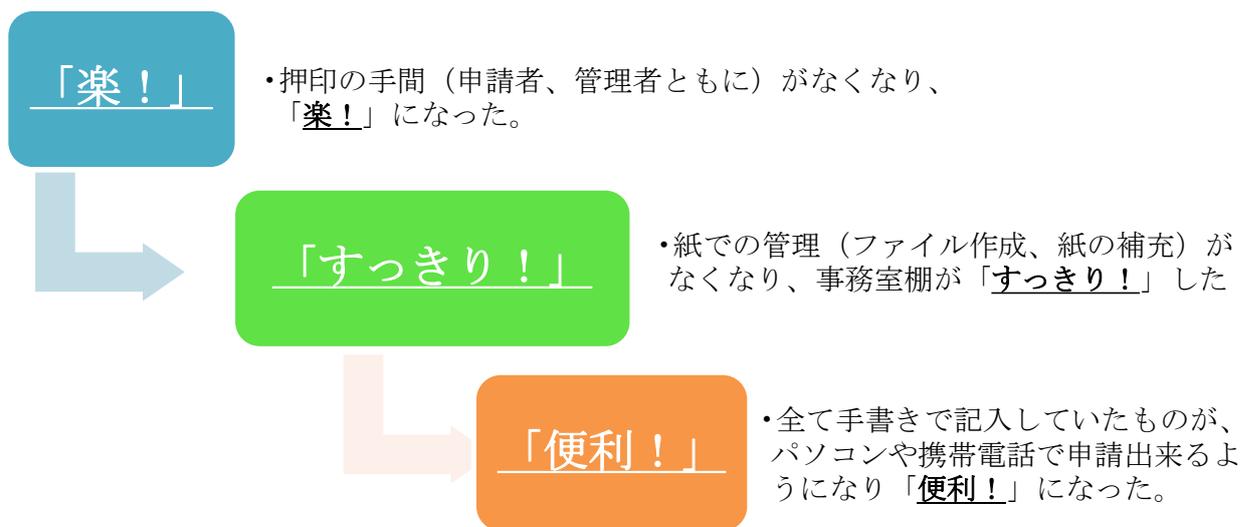
- ・各車両の走行距離、給油情報も全てデータ登録され、省エネルギー使用実績報告時の手入力が不要となった。各車両の利用状況も瞬時に分かるようになり、車両の適正配置など電子データで「**すべてが完結!**」。

※運転記録は、道路交通法施行規則（安全運転管理者の業務）第九条の十により内容が定められているが、同第九条の十の二に「**電磁的方法による記録**」の項目を発見！これにより、「**きちんとした裏付け**」により運転記録の電子申請を進めることが出来た。

また、北上市公用車運行管理規程も一部改正し、全ての公用車の運転記録を電子申請とすることが認められた。

## 7 取組の効果・費用

### □利用者の声



### □取組の効果・費用

- ・毎月約 2,000 件の公用車利用があり、年間で約 24,000 件の利用実績。

運転命令及び運転日誌の手書き記入時間がそれぞれ約 1 分。2 分×24,000 件=48,000 分。

電子化により手書き記入不要、ボタン選択のみとなり各入力時間が約 30 秒！

1 分×24,000 件=24,000 分となり、「**年間約 400 時間の業務削減効果！**」。

- ・A4 用紙 500 枚入り が 48 個分 (**年間 2,4000 枚の紙削減**) になる。金額では、単価 500 円×48 個で 24,000 円分の費用が減額。シュレッダーの処分委託費も減額。

## 8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦勞した点）

・デジタル化の取り組みは、それが上手くいくかわからない部分も多く、導入によるメリットを説明することに苦勞した。

・事務改善の進め方を考え、説明用の資料を作り、現在の例規（公用車を使用する根拠の要綱）の改正を同時に進めつつ、市職員になぜ今改善が必要なのか、都度説明しながら進めたことが苦勞した。

・市職員の中の 50 代以上の職員のごく一部に、「デジタル化アレルギー」の職員が存在していた。そのため、入力の方法を一から分かるマニュアルを作り、分かりやすく丁寧な作成を心掛けた。

・「LoGo フォーム」専用の問い合わせ用のフォームを作り、「いつでも！」、「気軽に！」、職員が相談できる体制を構築した。

## 9 今後の予定・構想

・どの自治体も、公用車の管理が課題となっていると思われませんが、今回の電子申請化により全ての車両の運行日、走行距離情報がデータで把握出来ることから、公用車の適正配置、適正管理を行っていきたい。

・デジタルを活用し、電話での対応、メールでの対応を極力減らし、自分の業務に集中できる環境を作る業務改善を、市職員全体で行って行ければ良いと考えている。

## 10 他団体へのアドバイス

・LoGo フォームは、業務の効率化と働き方改革の「**有効なツール**」と考えます。

・公用車利用時の運転命令、日誌の「**手書き**」での記入は、現在も「**全国ほとんどの自治体で毎日**」行われている事務と思われます。大量の紙の消費、大量の紙の保管、大量の毎日の押印！ではなく、デジタルを活用し、自治体職員全体で業務改善を行いましょう！

・北上市が作成した申請フォームはどンドン真似して構いません。それぞれの市町村にあったオリジナル版を作ってください。LoGo フォームを使った電子申請フォームの作成は、「**思っているよりも難しくなく容易**」だと思えます。ぜひ、貴自治体でもチャレンジしてみましょう！

## 11 取組について記載したホームページ

参考

・北上市公用車利用フォーム①（運転命令）テスト版



・北上市公用車利用フォーム②（運転日誌）テスト版



・公用車利用フォームの問い合わせ（相談）フォームテスト版

